

みずほCustomer Desk Report 2020/04/03号(As of 2020/04/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.51
TKY 9:00AM	107.28	1.0952	117.46	GBP/USD	1.2385
SYD-NY High	108.09	1.0970	117.70	AUD/USD	0.6090
SYD-NY Low	107.02	1.0821	116.36		
NY 5:00 PM	107.91	1.0856	117.14		
NY DOW	21,413.44	469.93	日本2年債	-0.130	1.00bp
NASDAQ	7,487.31	126.73	日本10年債	-0.010	▲2.00bp
S&P	2,526.90	56.40	米国2年債	0.2256	▲1.59bp
日経平均	17,818.72	▲246.69	米国5年債	0.3822	1.25bp
TOPIX	1,329.87	▲21.21	米国10年債	0.6095	0.84bp
シカゴ日経先物	18,280.00	475.00	独10年債	-0.4400	2.75bp
ロンドンFT	5,480.22	25.65	英10年債	0.3285	1.80bp
DAX	9,570.82	26.07	豪10年債	0.7670	8.40bp
ハンセン指数	23,280.06	194.27	USDJPY 1M Vol	12.65	▲0.67%
上海総合	2,780.64	46.12	USDJPY 3M Vol	10.85	▲0.71%
NY金	1,637.70	46.30	USDJPY 6M Vol	9.88	▲0.42%
WTI	25.32	5.01	USDJPY 1M 25RR	-4.05	Yen Call Over
CRB指数	124.84	6.34	EURJPY 3M Vol	11.68	0.43%
ドルインデックス	100.18	0.51	EURJPY 6M Vol	10.85	0.40%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月2日	21:30	米 貿易収支	2月 -\$39.9b	-\$40.0b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	28-Mar 6648k	3763k
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月 0.0%	0.2%

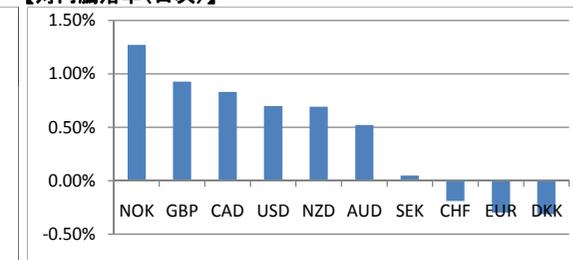
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月3日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 -100k	273k
	21:30	米 失業率	3月 3.8%	3.5%
	21:30	米 平均時給(前月比)	3月 0.2%	0.3%
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・確報	3月 38.5	39.1
	23:00	米 ISM非製造業指数	3月 43.0	57.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 やり過ぎはよくないと思います

今次の新型コロナウイルスに関しては従来の新型インフルエンザ等と比べて特徴的なことがいくつかある。一つは感染速度が非常に速いということである。その感染のスピードに検査が追いついていないようだ。次に、言うまでもないことであるが、特效薬が見つかっていない、若しくは感染のスピードに比べて特效薬の開発が相対的に後れをとっているということがある。一方で、感染者の8割が軽く済んでいるらしいということも特徴的であろう。インフルエンザ等では大抵皆同じような症状であるように思うが、新型コロナウイルスでは随分症状にばらつきがあるようだ。果たして特效薬が存在するのに毎年3000人が亡くなっているインフルエンザと、未だ特效薬がなく感染拡大のスピード自体は脅威ではあるが死亡数が相対的に少ないものどちらが重大であるのか、議論の余地はあると思う。

年度末を過ぎ、新年度になってふと周りを見回してみると、町や電車の人の少なさに改めて衝撃を受けた。まるで違う世界に迷い込んだようで、経験したことのない活気のなさであった。まさに「経済停滞」ということを肌で感じられる光景である。東京ロックダウンなどという事態は、どのように考えても経済活動停滞を招くものであるし、言い換えれば為政者が経済的自衛を選ぶようなもののようにも思える。そもそもロックダウンしたところで本邦では往來を止めることなどできないであろうし、一旦始めたら、軽たく解除できないだろう。中途半端な時期に解除してしまえば、結局そのときからパンデミックが再開してしまいかねない。全体最適を考えればオリンピックの延期が発表されるまでの本邦の大人びた態度は正解であったと思う。国が、会社が、一丸となって新型コロナに立ち向かうことには大賛成ではあるが、日本人はともすると羊の群れのように一方へ向かいがちな国民性であり振り子が振れすぎないことを祈りたい。(加藤)

東京	東京時間のドル円は107.28レベルでオープン。仲値にかけて買いが優勢となり107.57を付けるも後は上値が重く推移し107.30付近での推移が継続。日経平均の伸び悩みも上値の重さの原因となり107.20レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.20レベルでオープン。中国が原油在庫を積み増したとのヘッドラインで原油相場が堅調だったこともありリスクセンチメントも堅調だったが、不透明感から円売りは積極的に進まず107.18-44の限定的な値動きに終始。107.32レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2423レベルでオープン。ポンドドルは終始堅調。英3月住宅価格が新型コロナのパンデミック前のものながら2年ぶりの高い伸びを示したこともあり買いが集まった模様。一時1.2476まで買われたが長続きはせず1.2440レベルでNYに渡った。(ロンドンツールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は東京時間に円売り優勢となり107.57まで上昇するも、前日NY高値(107.61)付近で上値が重くなり、反落。欧州時間は107円台前半でレンジ推移となり、107.32レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が発表され、664万8千件と先週に続いて過去最多を更新するトリカオの円買いが優勢となり、107.02まで下落。しかし、米株が持ち直してナス圏に浮上するとドル円も反発し、その後トランプ大統領が「サウジとロシアが原油生産を1000万バレル削減に踏み切ることに期待する」と発言したほか、「サウジがOPECプラス緊急会合開催を呼び掛け」とのヘッドラインが伝わり、原油先物が急伸する中、米株の上げ幅拡大にドル円は一時108円台を回復。買い一巡後、107.62まで反落する場面もあったが、米株の堅調推移にドル円も底堅く推移。午後は108.09まで高値を更新し、107.91レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ドルで方向感の無い推移でスタートするが、早朝にかけて「ドイツ政府が今年の通年GDPが5%以上の縮小を見込む」とのヘッドラインに1.0909まで下落し、1.0915レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎユーロ売り優勢の展開が続く。低調な米経済指標結果を背景に圧迫されたユーロ円の動きもあいまって、1.0841まで下落。その後、米株の反発に1.0899まで戻す場面もあったが、1.0915レベルを回復できず反落。午後はドル買い優勢の中、中値模索の展開となり、1.0821まで安値を更新するが、終盤にかけてユーロが買い戻され、結局1.0856レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 加藤・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア

ブル	ペア
8	12